

キリストを中心とした 信仰、愛、希望

コロサイ書1:1~8

1.神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロ、および兄弟テモテから、
2.コロサイにいる聖徒たちで、キリストにある忠実な兄弟たちへ。どうか、私たちの父なる神から、恵みと平安があなたがたの上にありますように。
3.私たちは、いつもあなたがたのために祈り、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。
4.それは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている愛のことを聞いたからです。
5.それらは、あなたがたのために天にたくわえられてある望みに基づくものです。あなたがたは、すでにこの望みのことを、福音の真理のこぼれの中で聞きました。
6.この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それをほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。
7.これはあなたがたが私たちと同じしもべである愛するエパfrasから



学んだとおりのものです。彼は私たちに代わって仕えている忠実な、キリストの仕え人であって、
8.私たちに、御霊によるあなたがたの愛を知らせてくれました。

はじめに

私は以前、広告代理店ではたらいっていました。私たちの印刷会社のカウンターの後ろに、ひとつの看板が掛けられていたことを私は覚えています。その看板には3つの言葉が書かれています。それらは、「価格、品質、迅速」というもので、その下に、「これらのうちのいずれか

ふたつをお選びください。」と書かれていました。たいていのお客様は、これら3つがすべてそろっていることを望みました。すなわち、安い価格の上に、最高の品質が得られ、そして、それらが早く出来上がるということです。しかし、安い価格の上に、早い出来上がりを望むお客様は、良い品質のものを手に入れることはできません。これら3つのものすべてを満足させることはできないのです。しかし、このことの中に、本当に大切なことが示されていると私は今も思っているのです。

もし、コロサイ教会の前にも同じように、3つの言葉からなる看板をかかげるとしたら、その3つとは、「信仰、愛、希望」でしょう。そして、その下に、「これら3つのものすべてをお取りください。」と書き足したと思うのです。コロサイの教会は成長し、豊かな実を結ぶ教会となっていました。彼らの教会には、信仰、愛、希望の3つがすべて根付いていました。希望に満ちた彼らの教会では、信仰と愛が湧き上がっていたのです。

しかし、その希望の源とは、いったい、何だったのでしょうか？

キリストを中心とした信仰

コロサイの教会は、信仰において成長している教会でした。彼らはエパfrasという人からキリストについて、そしてキリストにあっていただくことのできる救いの知らせを聞きました。信仰によって、彼らはキリストを救い主として信じ、コロサイの町に教会を建て上げました。彼らの信仰の中心には神さまがおられ、キリストの教えから流れ出てくる希望がその教会に満ちあふれていました。生活のすべての面において、神さまを正しく認めることによって、彼ら一人ひとりの心は満足していたのです。

私たちが信仰に従って生活したとしても、私たちが欲するものを常に手に入れるというわけではありません。しかし、私たちの信仰の焦点が神さまにあるとき、私たちは神さま御自身を手に入れます。しかし、それはも

しかすると、信仰における大きなチャレンジでもあります。なぜなら、何にもまして神さま御自身が私たちの一番求めるものになるからです。私たちが信仰に生きていても、必ずしも、経済的に豊かになるというわけではありません。もし、病気になったとしても、必ず、その病気がいやされるというわけでもありません。ところが、私たちは、生活の中で神の御臨在そのものをいただきます。私たちの人生は、神の私たちとの個人的な関係によって大きな祝福をいただきます！それが信仰における祝福です。そして、それに勝るものは何ひとつとしてこの世にはありません。私たちが神さまを自分のうちに持つならば、私たちはすべてを得ています。

あなたの信仰は今までに試みや誘惑で試されたことがありますか？私たちが直面するようなチャレンジは、私たちがキリストとのより深く、より強い交わりに導き入れてくれます。私たちが神さまに向かって近づくことはとても大切です。なぜなら、神さまだけが私たちに真実に満たすことができるからです。

キリスト中心とした愛

コロサイの教会には、他の人たちに向けられる深い愛が宿っていました。彼らの愛は教会を越えて、外の世界にいる人たちにも注がれていました。コロサイ教会の愛は「御霊による愛」

でした。神さまの御霊は、コロサイ教会に加えられていたクリスチャンの心の中にはたらいていました。それは、人間の心の中で自然に湧き上がってくるような愛ではありません。それは、彼らのために天の御国に備え

られている希望からわきあがる愛でした。

この手紙が書かれた時、使徒パウロは牢獄に入れられていました。また、信仰のゆえに教会が迫害を受けていた時でもありました。クリスチャンたちは牢獄に入れられ、彼らの家は没収されました。クリスチャンを助けたり、訪問したりすれば、その人自身がいのちを奪われたり、持ち物を没収されたりする危険がありました。へブル人への手紙には、その様子が書き残されています。へブル書10:32～35を読んでみましょう。



ヘブル書 10 : 32 ~ 35

- 10:32 あなたがたは、光に照らされて後、苦難に会いながら激しい戦いに耐えた初めのころを、思い起こしなさい。
- 10:33 人々の目の前で、そして苦しみとを受けた者もあれば、このようなめにあった人々の仲間になった者もありました。
- 10:34 あなたがたは、捕らえられている人々を思いやり、また、もっとすぐれた、いつまでも残る財産を持っていることを知っていたので、自分の財産が奪われても、喜んで忍びました。
- 10:35 ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。

天の御国に備えられたものへの希望があったから、厳しい試練の中であってもお互い愛し合うことができたのです。

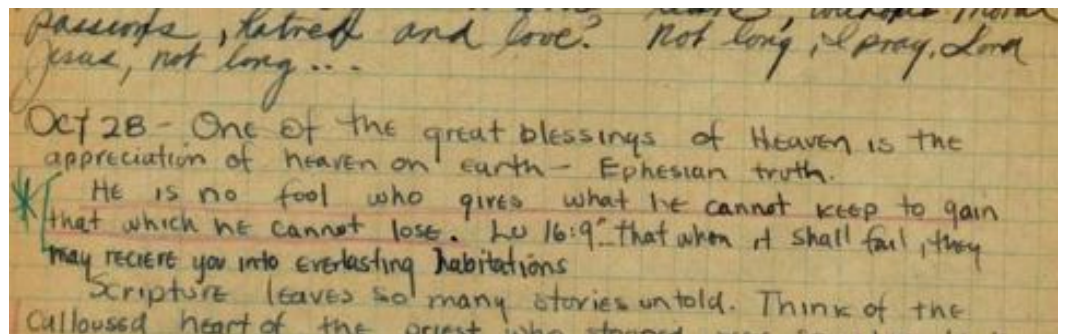
この様子を、ある著者は次のように言っています。「家具や家や安全を愛する、この世的な愛の力を打ち砕くのは、天を思う心です。天を思う心が、愛のために危険を冒すことをいとわなくします。クリスチャンが愛に失敗するのは、彼らが天の御国以上に、この世を愛しているからです。」

神さまの愛は、他の人たちに最大の益となるように私たちに動

かします。私たちと同じような考えを持っている人や、同じように行動する人を愛することは簡単です。そして、私たち自身が困難に遭わず、ものごとが順調に運んでいるときに、他の人を愛することは簡単です。ところが、愛することの本当の試練は、傷を受けたり誤解が生じたりしたときです。誰かがあなたを見下したり、がっかりさせたりしたとき、どこから愛する力が来るのでしょうか？誰かがあなたを傷つけ、あなたをまるでゴミのようにあつかう人がいるとき、あなたはどこに向かって愛を求めらるのでしょうか？愛することを難しくする人や状況がありますか？しかし、御霊による愛は、私たちがふさわしいときに、ふさわしい方法で応えられるようにしてくれます。そして、失敗したときでも、正直に自分の過ちを認めることができるようにしてくれます。御霊による愛は、私たちが自分の利益や自分の権利に固守しているときに陥ってしまう悪循環からも私たちを救い出してくれます。

キリストを中心とした希望

コロサイ教会のクリスチャンの信仰と愛は、天の御国に備えられた希望から引き出されたもの



でした。彼らの希望は、キリストのうちにある、キリストが彼らのためにしてくださったことが彼ら

の希望でした。次にご紹介するお話は、コロサイ教会のクリスト者たちがいただいていた、希望から生み出された信仰と愛を語る上で、役立つのではないかと思います。

エクアドルの原住民にキリストの福音を宣べ伝えるため、住み慣れた家と快適な生活を投げ捨てたジム・エリオットという宣教師がいました。彼がしたことによって多くの人たちは驚きました。彼は多くの面で有能でしたが、その彼は、まるで、愚かな自殺行為をしてしまった人のように人々の目に映って見えたのです。福音を伝えようと決めた人たちに近づいたジムですが、こともあろうに、その人たちによってジムは、槍で突き刺されて殺されてしまいました。しかも、その槍には皮肉にも、以前、飛行機の上から撒かれたキリスト教の伝道用トラクトが巻き付けられていたのです。その出来事を知って、人々は何かの間違いが起こったのだとか、ジムは自分のいのちを無駄にしたと思ったようです。しかし、ジムは以前、次のような文章を日記に書いていました。「人は失うことができないものを得るために、

保つことができないものを差し出すほど愚かではない」。彼は、この世のものは保つことができ

ないと知っていました。また、永遠のものは決して失われな
いことも知っていました

彼の信仰と愛は、彼のために
天の御国にたくわえられている
希望から湧き出たものでした。
たとい、どのようなこと
が自分に起ころうとも、
神さまと永遠に過ごし、
キリストが彼のために
成し遂げてくださった
すべての祝福を味わう
ことを知っていました。
彼からそれを奪い取る
ことは、誰にもできませ
んでした。

天の御国にたくわえら
れている私たちの希望
は、私たちに、現在の
生活に対して、適切な
見方を与えてくれます。
天の御国の目で見ると
は、今の自分の生活を評価し
ないということではありません。
むしろ、適切な見方によって、
神さまが意図しておられるよう
に、信仰と愛に満ち溢れた生
活を送ることができるようになり
ます。

福音、それは真理のみことば

きょうの聖書箇所のひとつ、コ
ロサイ書1:6の中で、「世界中
で、実を結び広がり続ける」と
語られている「福音」とは、いつ
たい、何なのでしょう？コロサイ
教会の人たちの心と生き方を
変え、そして、信仰と愛と希望
とを彼らにもたらしたのは、いつ
たい、何だったのでしょうか？

「福音」ということばは、「良い知
らせ」という意味です。福音は、

イエスさまがご自分のいのちと
死と復活を通して罪の問題を
解決してくださった良い知らせ
なのです。罪とは、人間が神さ
まに背いたことです。「悪い知ら
せ」です。残念ながら、聖書は
人間のいやな姿を詳しく語って



いますが、私たちはそのことを
無視したり、そのことに腹を立
てたりします。しかし、私たちは
良い知らせを聞きいていない
のです。

私は最近、父親に逆らって、家
を出てしまった若者についての
記事を読みました。父親が死ん
だ後、家に戻って来たそうです。
父親が書いた遺言書を読まれ
る日がやってきました。家族が
集まり、弁護士がその遺言書
を読み始めました。少年がどの
ように反抗していたのかをことこ
まかに書かれてあるのに、みんな
は驚いてしまいました。この青
年がした悪い行いについての
ことを耳にし、彼は怒りにふる
えて、立ち上がり、部屋から出
て行ってしまいました。それか
ら約三年間、彼からの便りは何
もありませんでした。しかし、つ

いに、彼は見つかりました。そ
して、父親の遺言書は息子の
放蕩ぶりを詳しく述べたあとで、
信じられないような多くの遺産
をその息子に与えると書いてい
たのです。分け与えられるよう
にと語っていたというのです。

彼は悪い知らせを聞くに耐えら
れず、途中で退席したのでそ
の良い知らせを聞き逃していた
のでした。

聖書が伝えている「福音」も同
じように「良い知らせ」です。神
さまに背いてしまう私たちの醜
い姿があると、聖書はまず伝え
ています。ところが、そんな私
たちを神さまは心の底から愛し
てくださっていると語っていま
す。新約聖書ローマ書5:8に
は、「私たちがまだ罪人であつ
たとき、キリストが私たちのため
に死んでくださった」と書かれ
ています。神さまは私たちの状
態を気にかけてくださっていま
す。神さまは、愛をもって真理
を私たちに語りたいと望んでお
られます。神さまは、もう、これ
以上、私たち人間が罪による
問題を大きく背負わないように

ととどめてくださっています。それだけではありません。神さまは、その問題から私たちを救い出す答えまで教えてくださっているのです。どのようにすれば、傷ついた神さまとの関係が修復され、うるわしい状態へと変えられるのかという方法まで教えてくださっています。しかも、神さまは、御自身の側から御手を差し出してください、私たちの心に語りかけ、神さまとの関係を立て直し、罪による問題を解決するようにはたらいてくださっているのです。みなさんも、そのような神さまのはたらきが自分の心の中で続けられていることに気づいていますか？

さて、まず、順序立てて理解していきましょう。私たちは神さまのおことばに従わず、このお方から離れました。ですから、私たちは、「失われた人」としての状態です。ところが、そんな私たちに、神さまは御自身の側から、「わたしのひとり子、イエス・キリストを信じなさい。そして、あなたの罪を悔い改めなさい。」と声をかけてくださっています。それに対して、私たちは信仰によって応答し、悔い改めます。そして、信仰によって生活し続けることを神さまは望んでおられます。「良い知らせ」は、まさに今、あなたに届けられています。高ぶり、弱さ、絶望感というような状態にあなたがいるとしても、神さまは、「キリストには希望がある」というメッセージをあなたに送っておられます。信仰を持って近づく人に向かって、主イエス・キリストは、「心を騒がせてはなりません。わたしはあなたとともにいます。」と、約束してくださいませ。

イエスさまがお約束なされたことは、今だけでなく、永遠に有効です。それを受け取るのにふさわしくない、愚かな罪びとに神さまが贈り物として差し出されています。これが、「福音」です。罪の赦しと永遠のいのちを受け取ることから希望が始まります。この希望を理解し、受け取ることによって、私たちは日々の生活の中で、信仰と愛によって生きるようにと、励ましをいただきます。どうか、神さまが、私たちを御自身の近くに引き寄せてくださいますように。そして、日々の生活の中で、この福音の中に示されている希望を握りしめて、生きていく私たちとしてくださいますように。心から願っております。

祈り

お祈りしましょう。

愛する主よ、どうか、天の御国に備えられている希望に思いを向けることができるように、私たちを整えてください。

もし、私たちの心の中にあなたよりも大切にしたい喜びや快適さが宿っているなら、それらを砕いてください。

この世のものにとらわれるのではなく、天にあるものに私たちの心と思いとが向けられるようにお助けください。

あなたの愛を通して、私たちに忍耐強さとへりくだりとを与えてください。

どうか、私たちをキリストにある信仰に導いてください。

目に映るところによらず、信仰によって歩む私たちとしてください。

特に、大きな困難に出会ったとき、信仰にある歩みに私たちを導いてください。

私たちの信仰の目が他のものに向けられるのではなく、あなたに焦点が当てられるようお助けください。

神さま、どうか、私たちを愛へと導いてください。

たとい、私たち自身が犠牲となっても、他の方々の益のためのはたらきを捜す目を私たちに与えてください。

あなたのみこころを探し求め、よく聞き、よく祈る私たちへとしてください。

目でも見ることのできる愛と信仰の果実を、神さまからの恵みによって、私たちにも結ばせてください。

あなたにある希望を私たちの真中に置くことができるようにお助けください。

イエスさまお名前によって、お祈りいたします。

アーメン。